

⚠ 注意 | モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

MW25

万能型看護実習モデル “八重”

取扱説明書

目次



- はじめに・ご注意 P.1
- ご使用前の
ご使用前の確認 P.2
- 実習の準備
かつらの取り付け・取り外し P.3
- 実 習
経管栄養(経口・経鼻) P.4~P.5
導尿・膀胱内留置カテーテルの挿入 P.6~P.11
浣腸・腸洗浄 P.12~P.13
導尿・浣腸/ストーマケア P.14
摘 便 P.15
体位変換・体位保持・移動介助・関節可動域訓練 P.16
清拭・部分浴・洗髪 P.17~P.18
口腔ケア/寝衣交換 P.19
酸素吸入/吸引(経鼻・経口・気管切開部) P.20
吸引(経鼻・経口・気管切開部)/褥創の予防 P.21
直腸内与薬 P.22
皮下注射・筋肉内注射(上腕・大腿・臀部) P.23~P.24
点滴静脈内注射 P.25~P.26
中心静脈栄養ケア P.26
気道確保・気管挿管の準備と介助 P.27~P.28
胸腹部のアセスメント/死後の処置 P.29

▶ 「実習用推奨物品リスト」はウェブサイト <http://www.kyotokagaku.com/jp> からダウンロードいただけます。

動画サイト



日本語サイト

<https://youtu.be/IVhfOhInAnw>

はじめに

この度は「万能型看護実習モデル“八重”」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品は、これまでの「さくらII」の実習項目を踏襲し、さらに「挿管介助」等の項目を追加、卒前教育から病院での実践レベルまで看護技術習得のために活用いただける万能型看護実習モデルです。より「質の高い」看護への教育用実習教材としてご使用ください。

必ずお読みください

本来の使用目的以外にはご使用にならないでください。また取扱説明書に記載された方法以外でのご使用による万一の破損や事故に関して、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。

特長

- 胸腹部の視診・触診・打診によって多角的にアセスメント技術を習得できます。
- 点滴静脈内注射では、患者さんに配慮した輸液ケアを習得できます。
- 新たに気道確保や胸骨圧迫、挿管介助のトレーニングが可能になりました。
- シナリオや患者設定に合わせて、マスク(顔)やかつらを変更できます。

⚠ 注意

● 取り扱いにご注意ください。

特殊軟質樹脂を使用していますので、落下や強い衝撃を与えると破損の原因となります。また皮膚部の脱着の際無理な負荷がかかりますと破損しますので十分ご注意ください。

● 汚れは中性洗剤又はウェットティッシュで拭き取ってください。

モデルの汚れは水又は中性洗剤で拭き、乾燥後ベビーパウダーを塗布してください。シンナーやアルコールなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

● 印刷物をモデル表面に置かないでください。

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。樹脂にインクが吸収されて消えなくなります。

● ボールペンやサインペンで書き込まないでください。

サインペン、ボールペンなどでモデルやドレッシング材、テープに書き込むとインクが吸収されて消えなくなります。

● 高温多湿を避けて保管してください。

使用後は、高温多湿や直射日光のあたる場所での保管は避けてください。変形や故障の原因となります。

● 表面が変色する場合があります。

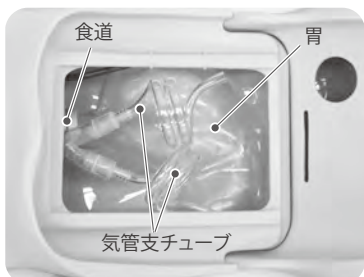
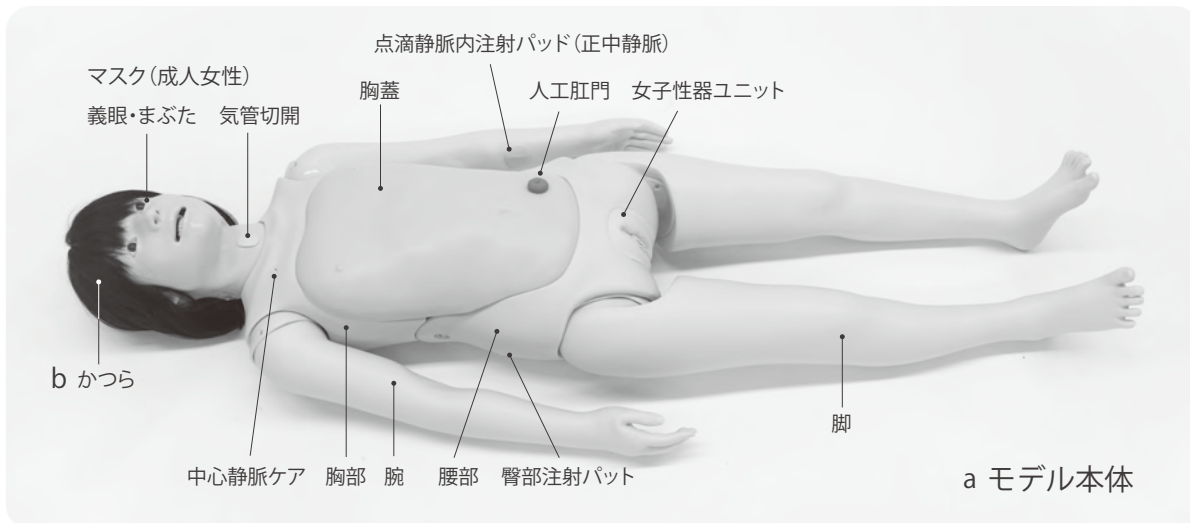
長期間使用されない場合や経年変化で変色することがありますが、ご使用には差し支えありません。

● モデル表面にテープを貼ったままの状態でご片付けしないでください。

長時間貼ったままの状態にすると、モデルの表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきが取れなくなります。この場合はガムテープをテープの粘着面とベタついている部分に、何回か貼付を繰り返すと取れやすくなります。

セット内容と各部の名称

ご使用の前に、構成品が全て揃っているかご確認ください。

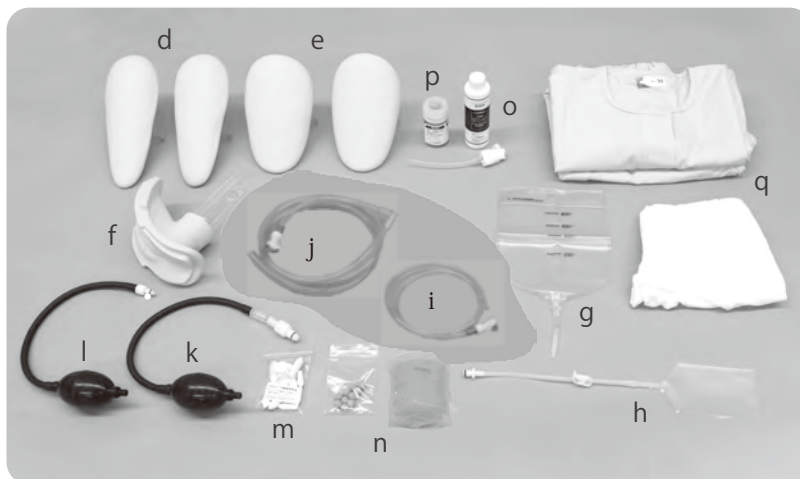


胸蓋内部 (胸蓋を取り外して撮影しています)



女子性器ユニット

c 義歯



付属品

- | | | | |
|-----------------|-----|-------------------|-----|
| a. モデル本体 | 1 式 | j. 排水用チューブ | 1 点 |
| b. かつら(成人女性) | 1 点 | k. 排水用ポンプ(コネクター大) | 1 点 |
| c. 義歯(上・下) | 1 組 | l. 排水用ポンプ(コネクター小) | 1 点 |
| d. 上腕注射パッド | 2 点 | m. 模擬座薬(大・小) | 1 式 |
| e. 大腿注射パッド | 2 点 | n. 模擬便(硬便・軟便) | 1 式 |
| f. 排便・直腸内与薬ユニット | 1 点 | o. トレーニングモデル用潤滑剤 | 1 点 |
| g. 貯水袋(大:給水用) | 1 点 | p. 潤滑剤(導尿・浣腸他用) | 1 点 |
| h. 貯水袋(小:排水用) | 1 点 | q. パジャマ・下着 | 1 式 |
| i. 貯水袋用チューブ | 1 点 | | |

取扱説明書

▶「実習用推奨物品リスト」はウェブサイト <http://www.kyotokagaku.com/jp> からダウンロードいただけます。

1 かつらの取り付け・取り外し

かつらは額（ひたい）中央、左右耳の前の計3か所のマグネットで固定します。
かつらの向きはマグネットが付いている側が前になります。

1. かつらの取り付け

① 頭部とかつらの向きを合わせ、かつらをかぶせてから、額（ひたい）中央部のマグネットを固定してください。



② 左右は両耳の前にあるマグネットで固定してください。



③ かつらの後ろのすそを引きおろし、後頭部の凹み形状にそわせてください。



2. かつらの取り外し

① 両耳の前のマグネットをはずしてください。



② 額（ひたい）中央部のマグネットをはずし、マグネットを浮かせたまま後方へずらして外してください。



3. かつらの手入れ

下記の手順で保管してください。

- ① 使用後は丁寧にブラッシングします。
- ② 型崩れしないようにかつらの中に紙を詰めます。
- ③ 毛先に癖がつかないようにUの字になるようにまとめます。
- ④ かつらを収納袋に入れて保管します。

1 準備

1. 胸蓋をはずす

モデルを座位の状態（胃に水を入れるため）にして、胸蓋の上部に指を差込み、手前側に引き出します。胸蓋は裏面のマジックテープでモデル腰部内面に固定されています。胸蓋を本体から取りはずす場合は女子性器ユニットを取りはずして腰部内のマジックテープをはがしてください。



2. 胃への水の注入

食道側と胃側のワンタッチジョイント部を持って引っ張ってははずします。胃の中に水を半分程度入れ、食道と胃のジョイント部を接続します。



3. 胸蓋を閉める

胸蓋の上部をモデル本体の穴に合わせ、ツバ部分をモデル本体内に差し込みます。胸蓋を取りはずした場合は内面のマジックテープ挿入孔からマジックテープを差し入れて腹部内面に貼りつけてください。



2 実習

半座位の体位で実習を行ってください。鼻腔や口腔よりカテーテルを挿入できます。胃への到達状況は、カテーテルチップシリンジで胃の内容物（水）の吸引、もしくは気泡音の聴取で確認できます。栄養剤の代用品として水の注入やテープ固定など、経管栄養の手順を実習できます。実習時はカテーテルや鼻腔・口腔部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を十分に塗布してください。不十分だとカテーテルの挿入が困難になります。

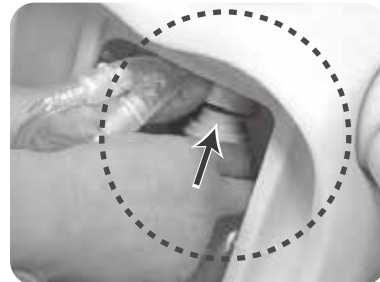


注意

- ・胃に水が入った状態でモデルを水平にすると、口腔内や気管等に水が逆流したり、口から水が溢れ出る場合がありますので、実習は必ず半座位で行ってください。
- ・栄養カテーテルは 12Fr をご使用ください。
- ・潤滑剤は付属のトレーニングモデル用潤滑剤を使用し、ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。
- ・テープ固定をされる際には、粘着性綿布伸縮包帯またはドライ サージカルテープを推奨いたします。

3 後片付け

1. 固定に使用したテープは必ずはがし、カテーテルを抜去します。カテーテルや鼻、口腔部に付着した潤滑剤をウェットティッシュ等で拭き取ります。
2. 胸蓋を開け、食道と胃のジョイント部をはずし、水の入った胃をモデル本体から取り出します。
3. 取り外した胃の中の水を捨ててください。
※ 胃の中の水がこぼれないようご注意ください。
4. 胃を十分に乾燥させ、改めて食道に接続し、胸蓋を閉めます。



注意

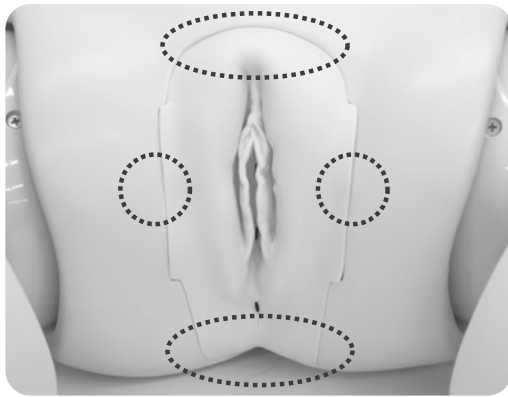
固定用のテープを貼った状態で片付けしないでください。長時間貼った状態にすると、モデル本体の表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきがとれなくなってしまいます。

1 モデルの設定

- ・外部から膀胱部へ水が注入できる構造のため、連続して導尿実習が行えます。
- ・膀胱・子宮・直腸は使いやすさを重視し、解剖学的な形状でなく幾何学的な形状としています。
- ・膀胱・子宮・直腸は内部にたまった水を排出しやすいようにネジ式で取りはずすことができます。
- ・別売の男子性器と交換すれば、男性導尿実習が行えます。

2 準備

1. 性器ユニットの取り外し



- ① 性器ユニット部の中央付近を押さえて片側の突起部を腰部からはずします。

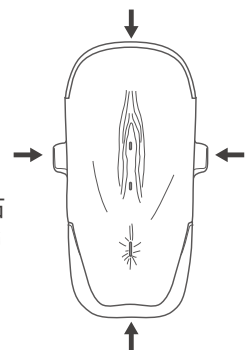


- ② ユニット部をずらしながら、もう一方の突起部と上側をモデル本体より取り外します。



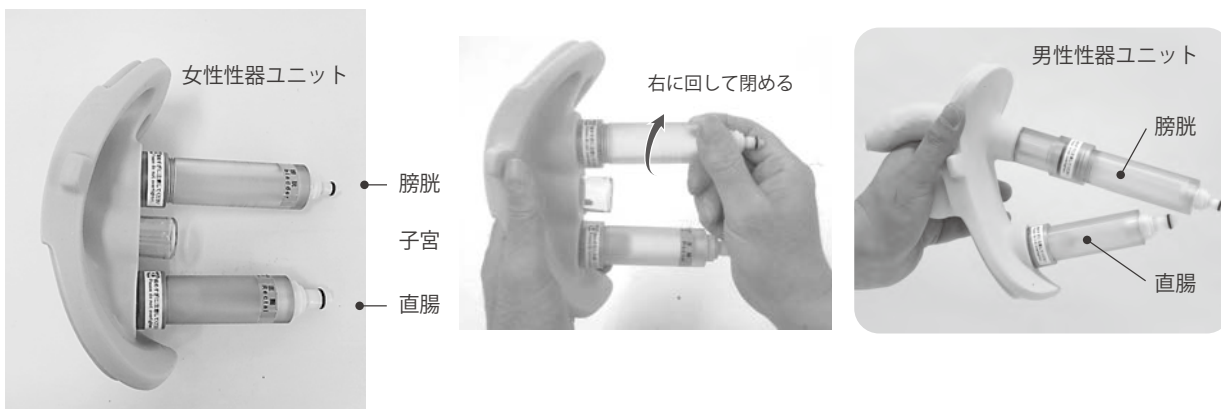
- ③ 性器ユニット部を上へスライドさせ下側の突起部をはずします。

性器ユニットには左右及び上下に突起があります。



2 準備

2. 膀胱が性器ユニットに取付けてあるか確認してください。女性性器ユニットにはあらかじめ膀胱・子宮・直腸が取り付けられています。膀胱部を右に回して、緩みなく取り付けられているか確認してください。別売の男性性器ユニットをご使用の場合は膀胱と直腸が取り付けられています。



3. チューブの接続

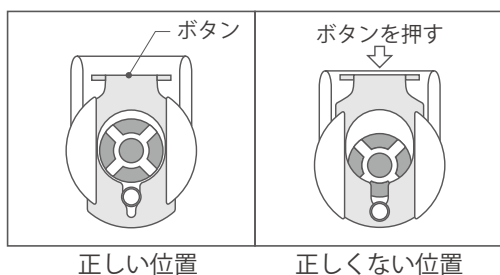
腰の左臀部注射パッドをつまみ出すように取り出してください。パッドを取り出すと腰内部に通じる孔があらわれます。その孔に貯水袋用チューブのコネクターを差し入れて性器ユニットを取り付け部に通します。（下写真中央を参照ください）

取り出したコネクターを膀胱部のコネクターに接続します。コネクターはカチッと音のするところまで差し込んでください。



● 差し込めない場合

ホース先端についているジョイントのボタンの位置が正しい位置（押した状態）になっているか確認してください。

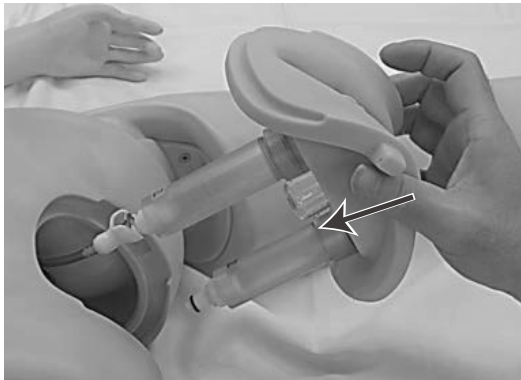


正しい位置でない場合、ボタンを押して正しい位置に戻してください。
※ボタンが円の中心にあることを確認してください

2 準備

4. 性器ユニットの取り付け

① 性器ユニットをモデル本体に取り付けます。



② 性器ユニット下側の突起部をモデル本体の取り付け溝に合わせ、差し込んでください。



③ 性器ユニット部を下へ隙間が出ないようにスライドさせます。



④ 左右の突起部を片側ずつ本体穴に差し込んでください。



⑤ 最後に上側の突起部を押し込んで、モデル本体に収めます。



※ 男性性器ユニットの場合も同様の手順で取り付けてください。

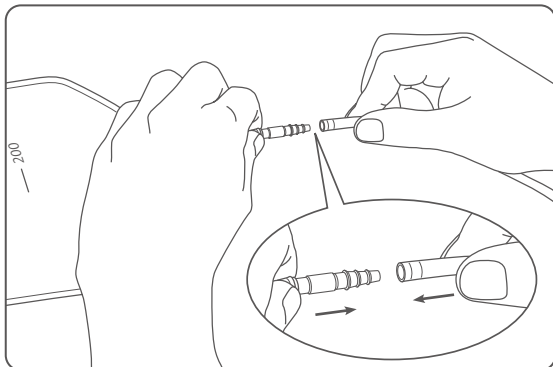


性器ユニットにあらかじめベビーパウダーを塗布しておくと、スムーズにモデル本体への取り付けができます。

2 準備

5. 貯水袋の準備

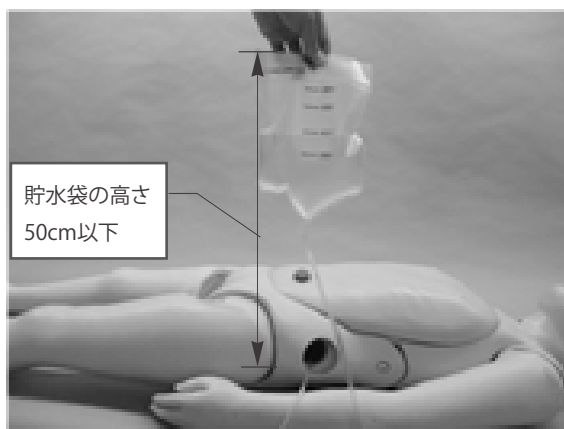
① 貯水袋チューブを貯水袋(大)に接続します。



② 貯水袋に水を入れてください。



③ 貯水袋を下記の高さになるように、イルリガートル等で固定してください。



* 貯水袋上端の高さはチューブ接続部より、50cm以下にしてください。それ以上の高さにすると膀胱にかかる水の圧力が強くなり弁から水が漏れる恐れがあります。

3 実習

- ・体位の保持、導尿カテーテルの挿入・膀胱内留置カテーテルの挿入実習が可能です。
 - ・カテーテルを挿入すると、尿(水)の排出が確認できます。
 - ・別売の男性性器ユニットをご使用いただくと男性導尿の実習も可能です。
- ※ 尿道口の消毒実習は消毒薬の代わりにして水をご使用ください。



※ 別売の男性性器ユニットを使用した場合

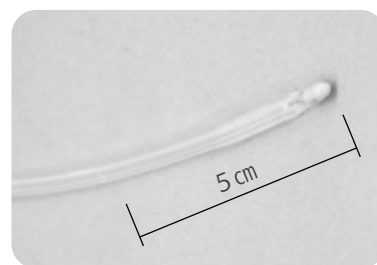


注意

- ・使いはじめは、膀胱にカテーテルを入れて貯水袋の水が膀胱にたまるまで数秒間お待ちください。
- ・貯水袋の水がなくなりましたら、水を補充してください。
- ・ネラトンカテーテルは 14Fr、バルーンカテーテル 16Fr を使用してください。16Fr よりも太いカテーテルを使用しますと、弁の消耗が通常よりも早くなりますのでご注意ください。

カテーテルに潤滑剤を塗布

トレー等に付属の潤滑剤(導尿・浣腸他用)を少量たらし、カテーテルの先端約 5cm を目安に塗布します。直接、潤滑剤の容器内にカテーテルを入れてもかまいませんが、容器の転倒等にご注意ください。



注意

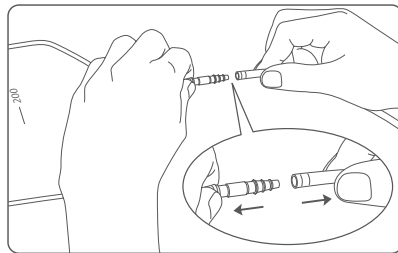
- ・潤滑剤は付属の潤滑剤(導尿・浣腸他用)をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事があります。また水溶性ゼリーの場合は膀胱内でゼリーの潤滑性が奪われます。ゼリー状の潤滑剤はカテーテルの抜去時に弁に負担を掛け(弁の)消耗が早くなりますので使用しないでください。

3 後片付け

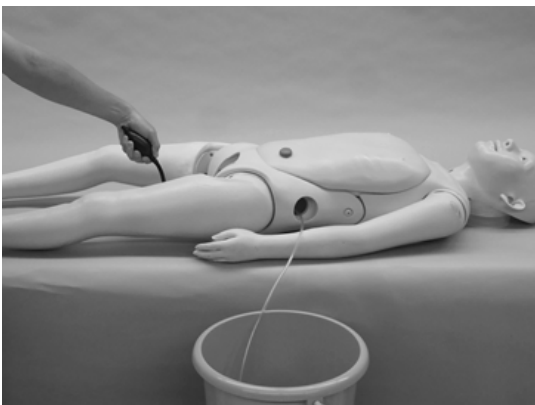
1. 性器ユニット部をはずします。(P6「性器ユニットの取り外し」を参照)
2. 膀胱に接続していたチューブのワンタッチジョイントのボタンを押しながら、膀胱部を取り外します。
3. 膀胱部をはずしたチューブに排水用ポンプ(コネクター小)を取り付けます。



4. 排水用の容器を準備し、貯水袋の水を捨て、貯水袋用チューブをはずします。



5. 貯水袋チューブの先端をバケツ等の容器の中に入れ、排水用ポンプを握り、チューブ内の水を排出します。
6. 水抜きが終了したら、貯水袋用チューブと排水用ポンプをはずし、腰内部から貯水袋用チューブを取り出します。



7. 膀胱を性器ユニット部からはずして、膀胱内の水を捨ててください。導尿用弁も取り出し水分を拭き取ります。2点のゴムパッキンは、無くさないようにしてください。

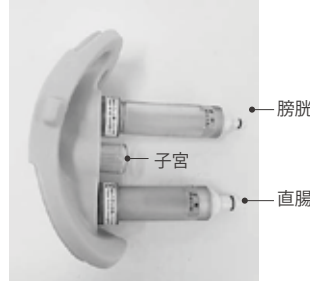


8. 導尿用弁と膀胱を性器ユニット部に取付けます。性器ユニットにあらかじめベビーパウダーを塗布しておくこと、スムーズにモデル本体への取り付けができます。

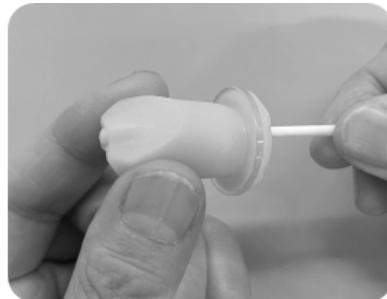
1 準備

1. 性器ユニットの取り外します。

女性性器ユニット



2. 使用前に直腸の中の直腸弁を取り出してください。綿棒に少量の専用潤滑剤を取り、弁切開部分に塗布してください。



.....
専用潤滑剤を塗布しない場合、カテーテルが上手く挿入できず弁破損に繋がります。

3. 直腸を右に回して、直腸が性器ユニットに緩みなく取り付けられているか確認してください。

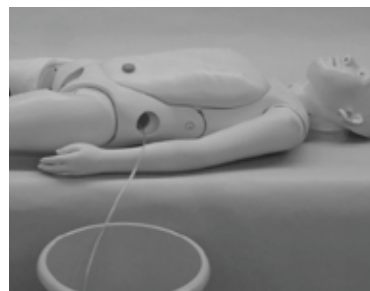
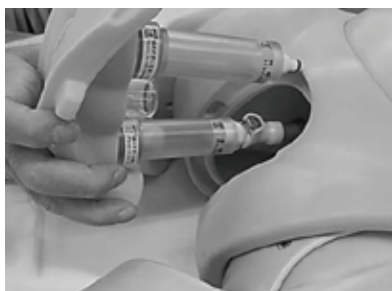
4. モデル内チューブの接続

腰の左臀部注射パッドをつまみ出すように取り出してください。パッドを取り出すと腰内部に通じる孔があらわれます。その孔に排水用チューブのコネクターを差し入れて性器ユニット取り付け部に通します。*右下写真をご参照ください。



●差し込めない場合 (P7を参照)

5. 取り出したコネクターを直腸部のコネクターに接続します。コネクターはカチッと音のするところまで差し込んでください排水用チューブの先端はバケツ等の中に入れておきます。



2 実習

体位の保持、浣腸液の注入・腸洗浄実習が可能です。浣腸器具には付属の潤滑剤（導尿・浣腸他用）を塗布してください。



腸洗浄は直腸管（腸カテーテル）14号をご使用ください。
潤滑剤は付属の潤滑剤（導尿・浣腸他用）を使用し、ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。



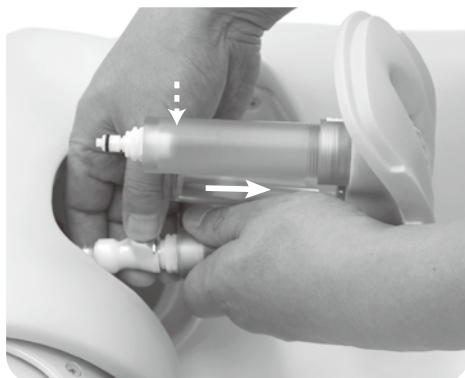
浣腸



腸洗浄

3 後片付け

1. 性器ユニット部をはずします。
2. 直腸部に接続していたチューブのワンタッチジョイントのボタンを押しながら、直腸部を取り外します。
3. 直腸部をはずしたチューブに排水用ポンプ（コネクター大）を取り付けます。
4. バケツ等に排水用のチューブの先端が入ったままの状態をポンプを握り、チューブ内の水を排出します。



5. チューブ内の水抜きが終了したら排水用ポンプと排水チューブをはずし、臀部注射パットを取り付けます。
6. 直腸を性器部からはずします。
7. 直腸弁もはずして、直腸内の水を捨ててください。
直腸と弁の水分を拭き取ります。直腸部をはずす際にOリングを無くさないようにしてください。



8. 直腸内を十分に乾燥させて下さい。直腸弁にリングを取り付けたのちに直腸部に差し込んでください。

そののち直腸弁が差し込まれた直腸部を性器ユニットに取り付けてください。性器ユニットにあらかじめベビーパウダーを塗布しておくと、スムーズにモデル本体への取り付けができます。

4 導尿弁・直腸弁の交換

膀胱・子宮・直腸の取付け・取り外し

膀胱・直腸の取付け部分はねじ式です。左右に回して取り付け・取り外しを行ってください。子宮は部品の開口部ををユニット内面の凹みに差し込んで固定してください。

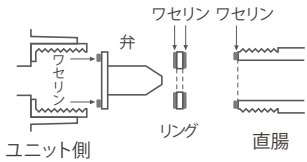
《導尿弁の交換》

1. 膀胱部を左側に回して取り外します。
2. 膀胱弁を取り出し、新しいものと交換します。
3. 改めて膀胱部を性器ユニットに取り付けます。

《直腸弁の交換》

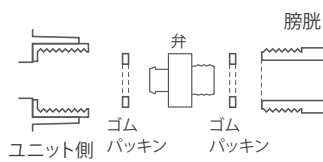
1. 直腸部を左側に回して取り外します。
2. 中に入っている直腸弁とリングを取り出し、直腸弁を新しいものと交換します。
3. 取り付けは、直腸弁にリングを取り付け、直腸部に差し込んでから性器ユニットに取り付けます。

《直腸弁の取り付け》

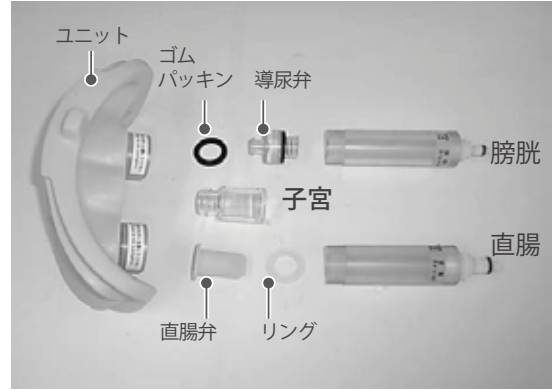


※ ワセリンをリングの両面及び直腸の弁と接する面に塗布します。

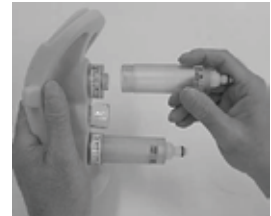
《導尿弁の取り付け》



弁の交換時に、導尿弁の2点のゴムパッキンと直腸弁のリングは、必ず取り付けてください。取り付けないと水漏れ等の原因になります。直腸弁がよじれて取り付けられていると浣腸液が漏れる場合があります。その場合は一旦取り外し、よじれないよう取り付けてください。



膀胱部の取り付け



直腸部の取り付け



1 ストーマケア (実習)

工肛門部のパOUCH交換(ワンピース・ツーピース)やケアの実習が可能です。別売品の模擬便(軟便)を使用して、より臨場感のある実習が可能です。



.....
模擬便(軟便)は乾燥するとすぐ固くなってしまふため密閉できる容器に保管してご使用ください。

※ 模擬便は小麦粉粘土ですので、固くなってしまっても水分を含ませると柔らかくなり再度使用することができます。



実習 摘便

1 準備

1. 摘便・直腸内与薬ユニットの直腸部を左回してユニットからはずし、中に摘便用キャップがはまっているか確認してください。



2. 中に摘便用キャップがはまっているのを確認し、ユニットに直腸部を取付けます。



3. 摘便・直腸内与薬ユニットをモデル本体に取付けます。
他の実習ユニットが本体にはまっている場合は交換してください。

2 実習

1. 摘便用の模擬便（硬便・軟便）は、肛門部より中に入れセットします。
セットする時は指に付属の潤滑剤（導尿・浣腸他用）をつけてから行ってください。模擬便は実習内容に合わせて硬便、軟便を選んでください。
軟便（小麦粉粘土）は水を含ませて硬さを調節できます。
2. 摘便の実習は必ず指に付属の潤滑剤（導尿・浣腸他用）をつけてから行ってください。



硬便



軟便



潤滑剤（導尿・浣腸他用）



3 後片付け

1. 摘便・直腸内与薬ユニットを本体からはずしてください。
2. 直腸部と摘便用キャップを摘便・直腸内与薬ユニットからはずしてください。
3. ユニット部に残った模擬便を取り除き、ユニット本体やキャップ部の汚れを中性洗剤などで洗ってください。洗浄後は十分に乾燥させ、パウダーを付けてから直腸部や摘便用キャップをユニット本体に取付け、保管してください。
4. 模擬便（硬便）は干さないよう容器や袋に入れ保管してください。模擬便（軟便・小麦粉粘土）は乾燥するとすぐに硬くなってしまいますため、密閉できる容器に保管してご使用ください。

※小麦粉粘土は、固くなってしまっても水分を含めると柔らかくなりますので再度使用することは可能です。

1 モデルの設定

- ・腕、脚部はつなぎ目がなく、人体に近い可動域を備えており、体位変換などのさまざまな体位をとらせる事ができます。
- ・座位姿勢をとらせることができます。
- ・手の指は曲げたりすることができます。



2 実習

体位変換・体位保持・移動介助・関節可動域訓練実習が可能です。



1 モデルの設定・実習

- ・腕、脚部につなぎ目がないため、全身清拭や足浴が実際の患者に行うようにリアルな実習が可能です。
- ・皮膚表面に肌感を表現、清拭時など乾いたタオルをご使用の時でもすべりが良くなっています。
- ・人工毛かつらの使用により、実際にシャンプー・リンス・ブラシ・ドライヤーを用いた洗髪実習が可能です。



2 準備

《年齢の変更》

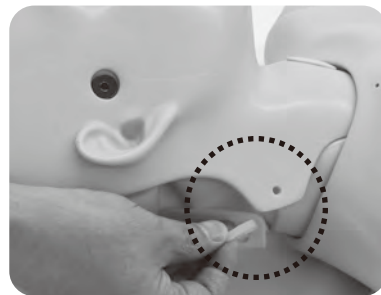
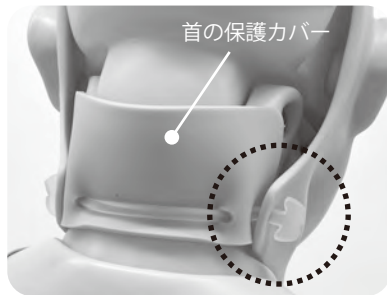
別売の高齢者マスクや高齢者かつらをご利用いただくと高齢者の実習モデルとしてご使用いただけます。

かつらの交換

かつらの交換については、P.3「かつらの取り付け・取り外し」を参照。

マスクの取り外し

1. 気管切開部の栓を取り外します。
2. 後頭部でマスクを固定している首の保護カバーのバンドの片側をマスクの穴からはずします。



3. 首側からマスクを持ち上げ取り外します。



※首の保護カバーは、頭を前後に動かしたときに、実習者の皮膚が挟まれないように保護するものです。
必ず取り付けてください。

2 準備

マスクの取り付け

1. マスクの首部の片側の穴に保護カバーを取り付けます。
2. 頭側からマスクをかぶせ、額と両耳前方にある3か所のマグネット部にマスクの穴を合わせます。
3. 耳付近の頭部の穴にマスクの凸部を差し込みます。



※首の保護カバーは、納品時はマスクに取り付けた状態となっていますが、別途購入された場合は①のような状態ですので、②のように片側の2つの穴にバンドを通してからマスクに取り付けてください。



4. 首の皮膚を胴体部に納め、気管切開部の栓を取り付めます。
 5. 後頭部で保護カバーのバンドをマスクの穴にはめ込みます。
- ※ 別売のマスクとかつらで老人を設定



3 後片付け

洗髪実習を行った場合の後片付け

1. かつらをはずします。(かつらの取り外しはP.3参照)

《かつらのお手入れ》

かつらは実習使用後、水分がついたまま放置すると髪が絡まったまま固まる恐れがありますので、下記の手順でお手入れを行ってください。

1. ブラッシングをしながらよく水洗いをして、陰干しまたはドライヤーで乾燥させてください。
 2. 乾燥した後、再びブラッシングをしてください。乾燥後、市販の整髪用シリコンスプレーをかけるというそう絡まりを防ぐことができます。
2. 洗髪実習ではマスク内に水が入ることがありますので、マスクをはずし、マスクやモデル本体頭部の水分を十分に拭き取り、十分乾燥させた後、改めてマスクを取り付けて保管してください。



注意

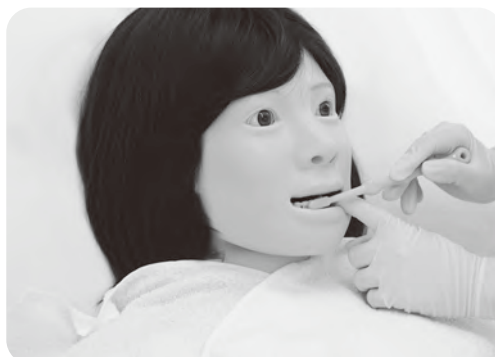
.....
長く使っていただくと髪の毛が縮れてしまうことがあります。このような状態をできるだけ避けるには、定期的な水洗い及びブラッシングが効果的です。

1 実 習

● 口腔ケア

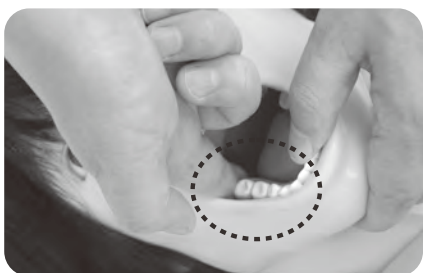
口腔ケアでは、一部介助や全介助の人に合わせた体位の取り方なども含めて実習できます。

- ・ブラッシング介助（義歯を取り付けた状態）
- ・口腔マッサージ（義歯は取り付けていない状態）
- ・入れ歯のケア（義歯を利用）



《義歯の取りはずし》

上下の歯共、奥歯側を持ち上げるようにしてはずします。上の歯は、前歯部分を手前にこじるようにしても取り外すことができます。



※ 写真は指を当てる位置を模式的に示したものです。

《義歯の取り付け》

口腔内に義歯を入れ、義歯裏面の溝部分とモデル本体の歯茎の凸部の位置を合わせ、歯全体をしっかりとめ込みます。



義歯裏面



● 寝衣交換

- ・モデルの手足は柔らかく、関節の可動域も人体に近い状態を備えており、寝衣交換の実習が可能です。



注意

.....
寝衣交換時等に市販のパジャマを使用される場合は、モデルへの色移りの恐れがあるため、できるだけ色移りのしにくいものをお選びください。またサイズは身長152cm、Mサイズのものをご使用ください。

1 酸素吸入（実習）

- ・酸素吸入の一連の手順をトレーニングできます。



2 吸引（実習）

- ・経鼻・経口・気管切開部よりの吸引の手順を実習できます。
- ※ 模擬痰等を使用して、実際に吸引することはできません。



1. カテーテルと鼻腔、口腔、気管切開部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を軽く吹き付けてください。



注意

- ・吸引カテーテルは 10 ～ 14Fr をご使用ください。
- ・潤滑剤は付属のトレーニングモデル用潤滑剤をご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

2. 気管切開部へのカテーテル挿入は、首の気管切開栓を抜いて、気管切開チューブを気管切開部の穴に装着して実習を行います。気管切開部のガーゼ交換や、チューブの清拭も実習できます。



注意

- ・気管切開部は穴をあけた構造のため、お手持ちの気管切開チューブ等を使用された場合、上手く装着できないことがあります。使用するチューブは弊社取り扱い品の「PORTEX 気管切開チューブ II MY-102 2746-020」を推奨いたします。

3 吸引（後片付け）

1. 実習に使用したカテーテルや気管切開チューブを取り外します。
2. カテーテルや気管切開チューブ、鼻・口腔部に付着した潤滑剤をウェットティッシュ等で拭き取ります。

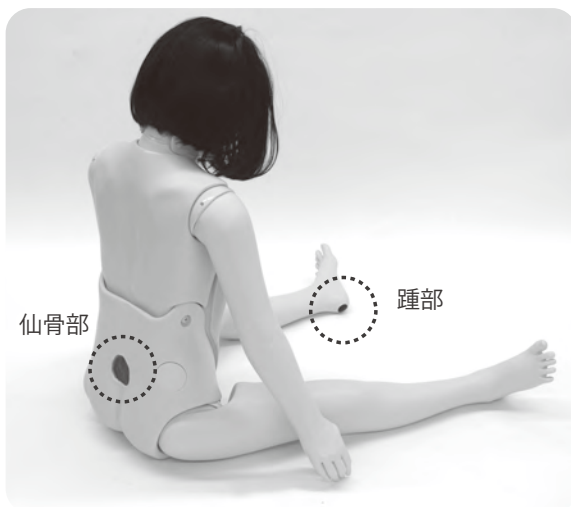


1 褥瘡の予防（実習）

褥瘡が発生しやすい部位や状態の理解、褥瘡の予防のための患者さんへのケアを実習することができます。

褥瘡ケアの方法を、洗浄やドレッシング材の貼付を含め学ぶことができます。

- ・体位変換
- ・ポジショニング
- ・褥瘡部のケア
- ・おむつ交換 など



.....
 洗浄実習を行う場合は、生理食塩水の代わりに水をご使用ください。

1 準備

1. 摘便・直腸内与薬ユニットの直腸部をユニットからはずし、中に摘便用キャップがはまっている場合ははずしてください。直腸内与薬実習ではキャップは不要です。
2. 摘便用キャップを取りはずしたのを確認し、ユニットに直腸部を取付けてください。



3. 摘便・直腸内与薬ユニットを本体に取付けてください。(P8「性器ユニット部の取付け」参照) 他の実習ユニットが本体にはまっている場合は交換してください。

2 実習

直腸内与薬の実習は必ず模擬座薬に付属の潤滑剤(導尿、浣腸他用)をつけてから行ってください。

直腸内与薬の実習に使用する模擬座薬は直腸部にたまる構造です。



3 後片付け

1. 摘便・直腸内与薬ユニットを本体からはずしてください。
2. 直腸部を摘便・直腸内与薬ユニットからはずしてください。
3. 実習後ユニット本体や直腸部・模擬座薬の汚れを中性洗剤などで洗ってください。洗浄後は十分に乾燥させ、ユニット本体部はパウダーを付けてから、直腸部や摘便用キャップをユニット本体に取付け、保管してください。
4. 模擬座薬はなくさないよう容器や袋に入れて保管してください。

1 準備

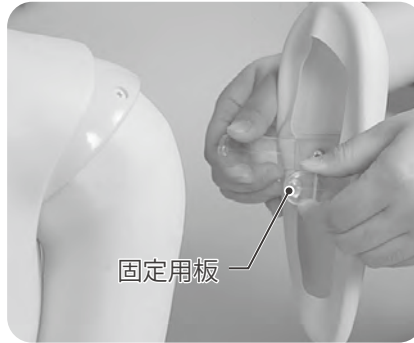
上腕・大腿注射パットの
取り付け・取り外し

● 取り付け

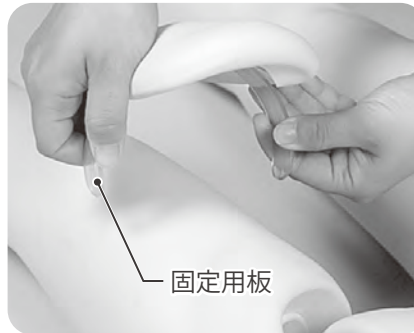
上腕・大腿注射パットの形状は左右どちらにも使用できます。

注射パットの固定用の板を開いて右の写真のように取付けてください。（大腿部も同様にしてください）

上腕注射パット取付け



取付け位置



大腿注射パット取付け



取付け位置

● 取り外し

注射パットの固定用の板を開いてはずしてください。

*脱着は必ず固定用の板を開いて行って下さい。無理に行くと皮膚が破れる恐れがあります。



注意

.....
上腕・大腿注射パットをモデルに取付けたまま放置されますとモデルに固定用の板の痕などが残るので、実習後は速やかに取りはずしてください。

注射パット内に水が入ったまま放置しないでください。（P24「実習後の処置… 上腕・大腿注射パットのはずし方」を参照）

2 実習

上腕部・大腿・右臀部で皮下注射の実習ができます。*左臀部では穿刺のみ実習可能です。

上腕部・大腿・右臀部で筋肉注射の実習ができます。*左臀部では穿刺のみ実習可能です。



注意

.....
左臀部のパットには薬液の注入はできません。

皮下注射は24-27G、筋肉注射は21-23Gの注射針を使用してください。

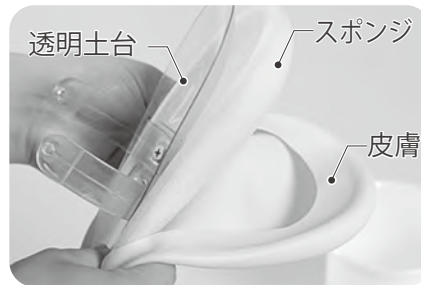
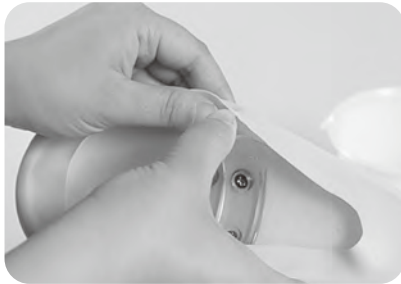


3 後片付け

《実習後の処置》

上腕・大腿注射パッド

●パッドの分解と処置



1. 固定用の板を内側へ寄せて、間にはさんである皮膚をはずします。
2. 皮膚をめくって中のスポンジと透明土台をはずします。
3. スポンジは絞って、皮膚と透明土台ははずしたまま、それぞれ十分に乾かしてから組んでください。



注意

.....
スポンジを洗う際は、引っ張ったり、捻ったりしないでください。スポンジが切れる原因となります。使用後、スポンジを洗う際は軽く絞る程度にしてください。

●パッドの組立

1. 透明土台のネジが出ている側にスポンジを合わせて、皮膚を細い側からかぶせます。
2. 固定用の板を内側に寄せて、間に皮膚の端をはさみ込んでください。(左右)

臀部注射パッド

●取り付け

臀部注射パッド取付け部にある印と注射パッドの印を合わせて、注射パッドを小さくして入れてください。

●取り外し

臀部注射パッドをつまんで引っ張り出してください。

●実習後の処置



注意

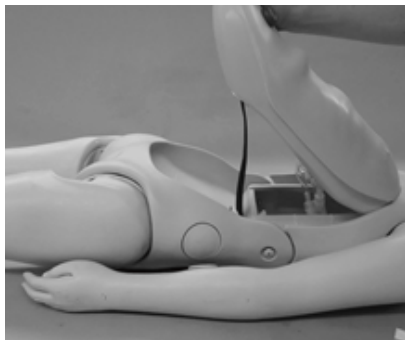
.....
スポンジを洗う際は、引っ張ったり捻ったりしないでください。スポンジが切れる原因となります。使用後、スポンジを洗う際は軽く絞る程度にしてください。

1. 注射パッド裏側からスポンジをつまんで引っ張り出し、スポンジを絞って十分に乾かしてください。
2. スポンジを皮膚の中に戻すときは皮膚とスポンジの印を合わせてスポンジを小さくして入れてください。

1 準備

1. 貯水袋（小）用チューブの挿入

女性性器ユニットを取り外してから腰部内面のマジックテープをはがして胸蓋の脚側を取り外します。（詳しい取り外し方法はP4-1を参照ください）次に腰の左臀部注射パッドをつまみ出すように取り出してください。パッドを取り出すと腰内部に通じる孔があらわれます。その孔に貯水袋（小）のチューブを差し入れて腰上面にあけられた孔に通します。



2. 腹内部に取り付けられているコネクタと貯水袋との接続

腹内部の左側に取り付けられている青色のチューブのコネクタに貯水袋のコネクタを接続します。コネクタ同士を接続したのち胸蓋をモデルに取り付けます。（取り付け方法はP4-3を参照ください）貯水袋（小）用チューブに付いているチューブコックを開放の状態にします。



2 実習

- ・左腕の正中静脈部と手背部で点滴静脈内注射の穿刺・テープ固定の実習ができます。
- ・左腕の正中静脈では点滴静脈内注射装着時の滴下確認の実習が可能です。



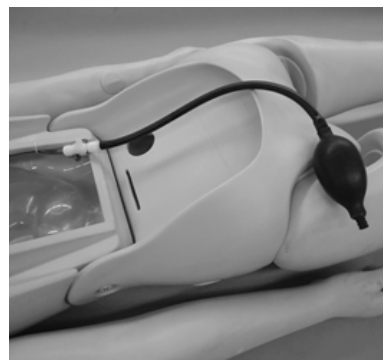
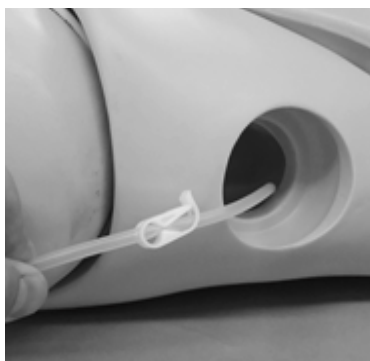
- ・パッドと腕の間から水漏れが発生した場合は、パッドをいったん外して装着し直してみてください。パッドの溝が腕穴の縁に填まっていない場合があります。



3 点滴静脈内注射（後片付け）

チューブ内の排水

接続していた貯水袋(小)のチューブコックを閉じます。次に女性性器ユニットを取り外してから腰部内面のマジックテープをはがして胸蓋の脚側を取り外します。（取り外し方法はP4-1を参照ください）ジョイント部のボタンを押しながら貯水袋を取り外します。はずしたジョイント部に排水ポンプ(コネクター小)を接続します。



正中静脈注射パッドを取り外します。腕の穴にティッシュペーパー 2枚程度を丸めて差し込んでから排水ポンプでチューブ内の水を排出します。排出が完了しましたら胸蓋を本体に取り付けます。胸蓋のマジックテープは腹部内面に差し入れてから貼り付けてください。（取り付け方法はP4-3を参照ください）パッド取り付け部とパッドは十分に水分を拭き取ってください。



1 中心静脈栄養ケア (実習)

カテーテル固定状態の患者さんの中心静脈栄養ケアの実習ができます。

- ・ドレッシング材での固定・交換
- ・留置時の清拭など



注意

.....
 実習は中心静脈カテーテルキットをご使用ください。



1 実習

周手術期やICUでの救急対応の看護を想定した挿管介助のトレーニングが可能です。

- ・器具類の準備 ・経口挿管（喉頭鏡・ビデオ喉頭鏡） ・挿管後の聴診
- ・気管チューブの固定 ・換気の挙上確認 ・胸骨圧迫



気管チューブの挿入

スニッフing・ポジションにして、喉頭鏡で確認しながら気管チューブの挿入実習を行います。

気管チューブ挿入実習の際には、口腔内と気管チューブの挿入部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を塗布しておきます。



胸骨圧迫実習にあたっては正しく胸骨を圧迫してください。肋骨など他の部分を圧迫されますと胸蓋が内部で破損する恐れがあります。



注意

気管チューブ挿入実習にあたっては、喉頭鏡はマッキントッシュ型（曲型）ブレードサイズ No.4 を、気管チューブは内径 7.0、7.5 mm を推奨します。

潤滑剤は付属のものをご使用ください。ゼリー状の潤滑剤などは内部で乾燥凝固して残留する事がありますので使用しないでください。

挿管後の確認

聴診器で送気音の確認を行います。

正しい位置での挿管、食道挿管が確認できます。

目視で胸部の動きを確認します。

正しい位置での挿管、食道挿管が確認できます。



1 実習

ビデオ喉頭鏡による気管挿管

ビデオ喉頭鏡を使用して声門を確認しながら気管挿管の実習を行います。

実習の際には、モデル本体の口腔内とビデオ喉頭鏡の挿入部に付属のトレーニングモデル用潤滑剤を塗布してから行ってください。



注意

.....
実習では、必ず付属のトレーニングモデル用潤滑剤をご使用ください。

気管チューブの固定

気管チューブのテープ固定、THOMAS 固定が実習できます。



注意

.....
テープ固定をされる際には、粘着性綿布伸縮包帯またはドライサージカルテープを推奨します。テープを貼ったままの状態では片付けしないでください。長時間貼ったままの状態にすると、モデル本体の表面にテープの粘着剤が吸着し、ベタつきがとれなくなってしまいます。

2 後片付け

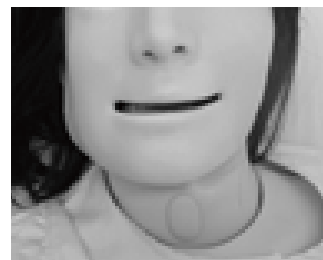
潤滑剤の拭き取り

実習後は気管チューブやモデルの口腔部の潤滑剤をウェットティッシュ等で拭きとってください。



注意

.....
実習後は顎の取り付け角度が歪んでいないかを確認してください。顎の取り付け角度が正しくないままとどめ置かれますとモデルの変形や破損の原因となります。



1 胸腹部のアセスメント（実習）

- ・視診・触診・打診で腹部アセスメントの手順を実習できます。
- ・胸腹部は、人体と同様に柔らかく、肋骨も再現しています。



1 死後の処理（実習）

- ・まぶたを閉じることができます。
- ・指関節内部に特殊金具が入っている為、指を曲げて手を合わせることができます。
- ・鼻や肛門部にも綿を詰めることができます。ただし詰めすぎないようにご注意ください。

●まぶたを閉じる



内まぶたの上側の端をつまんで、下側へ引きおろしてください。

●まぶたを開ける



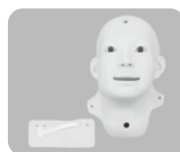
内まぶたの上側の端をつまんで、上側へ引きあげてください。

**注意**

モデル表面に印刷物などが直接触れないようにしてください。
樹脂表面にインクが吸収されて消えなくなります。

交換部品 一覧

コード番号	部品名
11404-020	マスク (成人女性)
11404-040	かつら (成人女性)
11404-060	女性性器ユニット
11251-310	摘便・直腸内与薬ユニット
11251-350	直腸弁
11404-080	導尿用弁 6個組
11251-320	模擬座薬 (大・小各5点)
11251-330	模擬便 (硬便10個・軟便用小麦粉粘土1式)
11251-040	大腿注射パッド (左右1組)
11251-030	上腕注射パッド (左右1組)
11251-050	臀部注射パッド (左右1組)
11404-050	正中注射パッド (4個組)
11229-050	トレーニングモデル用潤滑剤
11381-800	潤滑剤 (導尿・浣腸他用)



マスク(成人女性)



かつら(成人女性)



女性性器ユニット



摘便・直腸内与薬ユニット



直腸弁



導尿用弁 (6個組)



模擬座薬



模擬便 (硬便)



模擬便 (軟便)



大腿注射パッド (左右1組)



上腕注射パッド (左右1組)



臀部注射パッド (左右1組)



正中注射パッド (4個組)



トレーニングモデル用潤滑剤



潤滑剤 (導尿・浣腸他用)

別売部品 一覧

コード番号	部品名
11404-010	マスク (高齢者)
11404-030	かつら (高齢者)
11404-070	男性性器ユニット
12022-800	点滴静注シミュレータ器具セット(5名分)
12022-900	気道管理器具セット A



マスク(高齢者)



かつら(高齢者)



男性性器ユニット



気道管理器具セット A



点滴静注シミュレータ器具セット

・ご不明な点は、お買い上げの販売店、もしくは下記 (株)京都科学まで御連絡ください。



株式会社 **京都科学**

URL ● <http://www.kyotokagaku.com>

e-mail ● rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

■本社・工場

〒612-8388 京都市伏見区北寝小屋町15番地

TEL:075-605-2510 (直通)

FAX:075-605-2519

■東京支店

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目26番 6号

NREG本郷三丁目ビル2階

TEL:03-3817-8071 (直通)

FAX:03-3817-8075